

# 人生100年時代×テクノロジー 「創造する」大人の学びモデル

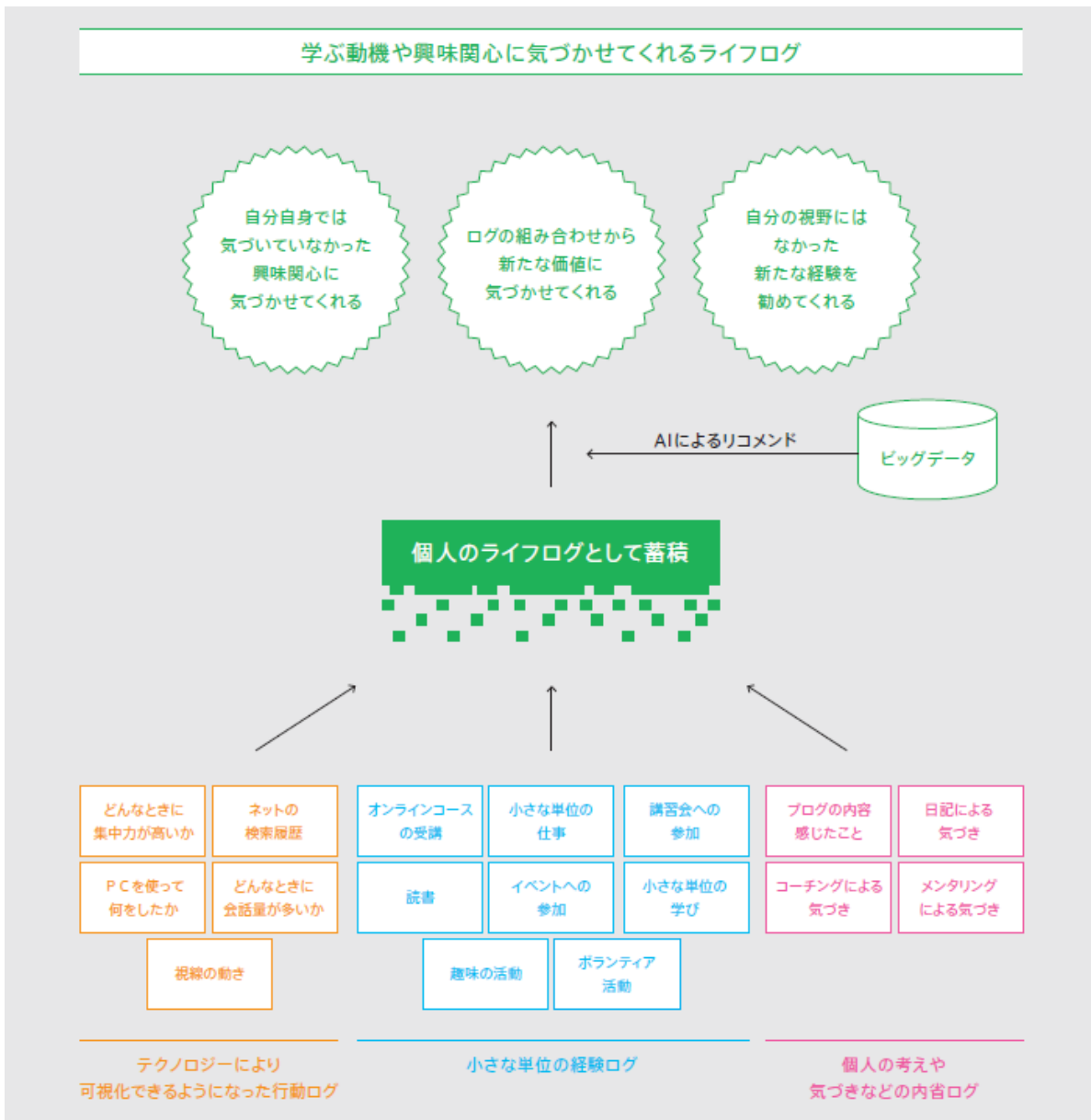
—未来の「学び」を考える—

# 2030年 学びは 「創造活動」になる

- 学習テクノロジーの台頭は、働くことや学ぶことに劇的な変化をもたらす
- 学びはこれまでのようにあらかじめ決められた場所ややり方で「蓄積すること」ではなく、自由なタイミングで「創り出すこと」「発信すること」を意味するようになる



# 自分自身のなかに眠っている動機が次々に発芽しやすくなる



- 知らないことに対する好奇心が、学びとキャリアの根幹にあり、自主的な学びが仕事により循環をもたらす

# 手軽で楽しく試せる学びが主流に

- テクノロジーの進化が簡単で楽しいアウトプット型の学びを増やす
- プログラミング業界では、「試しながら」学習するコンテンツが増加

## 試しながら学べるコンテンツ

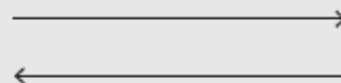
① 数枚程度のスライドで学ぶ  
(小さな単位で手軽に学ぶ)



② 実際にプログラムを記述  
(同じ画面内で結果をすぐ確認)



すぐ実践



わからないときは  
スライドに戻ってすぐ確認

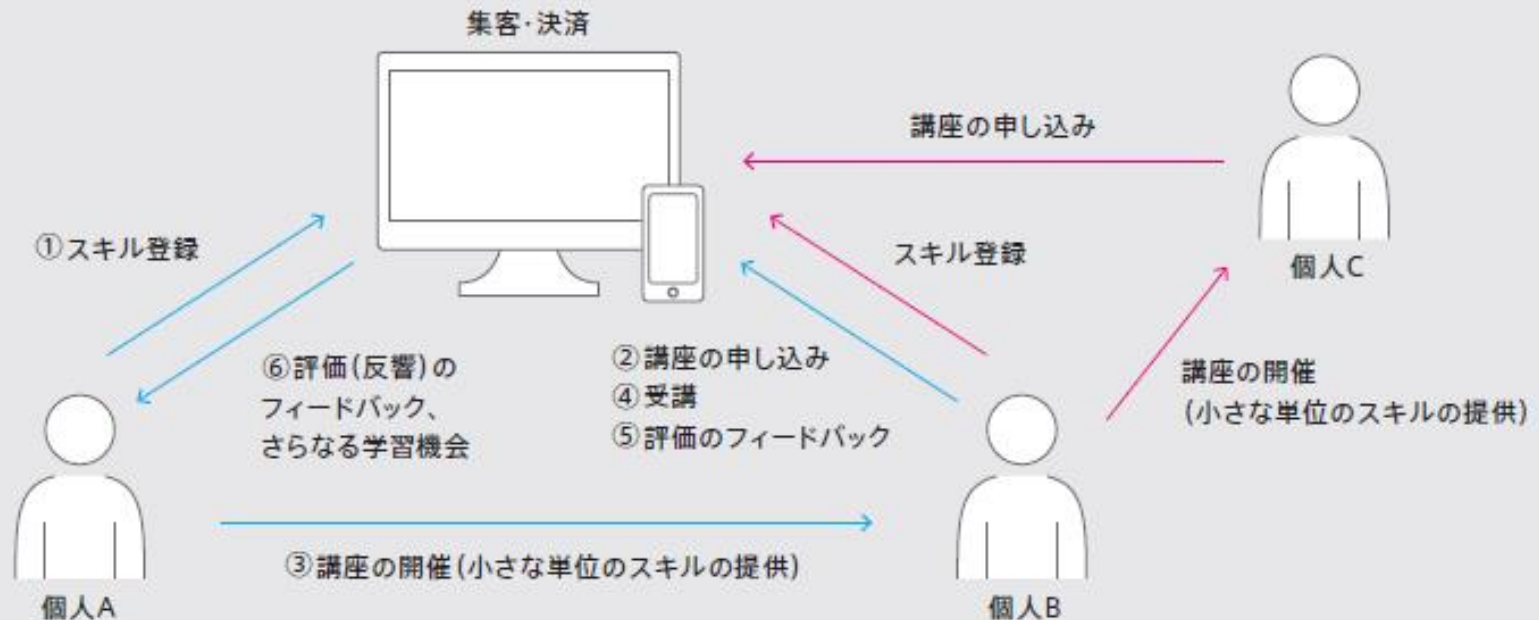
参考: Progate (<https://prog-8.com/>)

Progateでは、基礎から順に学んでもよく、自信のあるスキルは上級から始めるなど、学び方を選ぶことができる。即時のフィードバックで次の学習内容が決まるため、レベルに合わせて難易度を上げていくことができる

# アウトプットしたものが誰かに活かされ、 フィードバックを得ることができる

- これからの学びは、「習得」と「成果の発信」が同時に進む活用型の学びになる

小さな単位のスキルを使ったアウトプットで、みんなが先生、みんなが生徒に

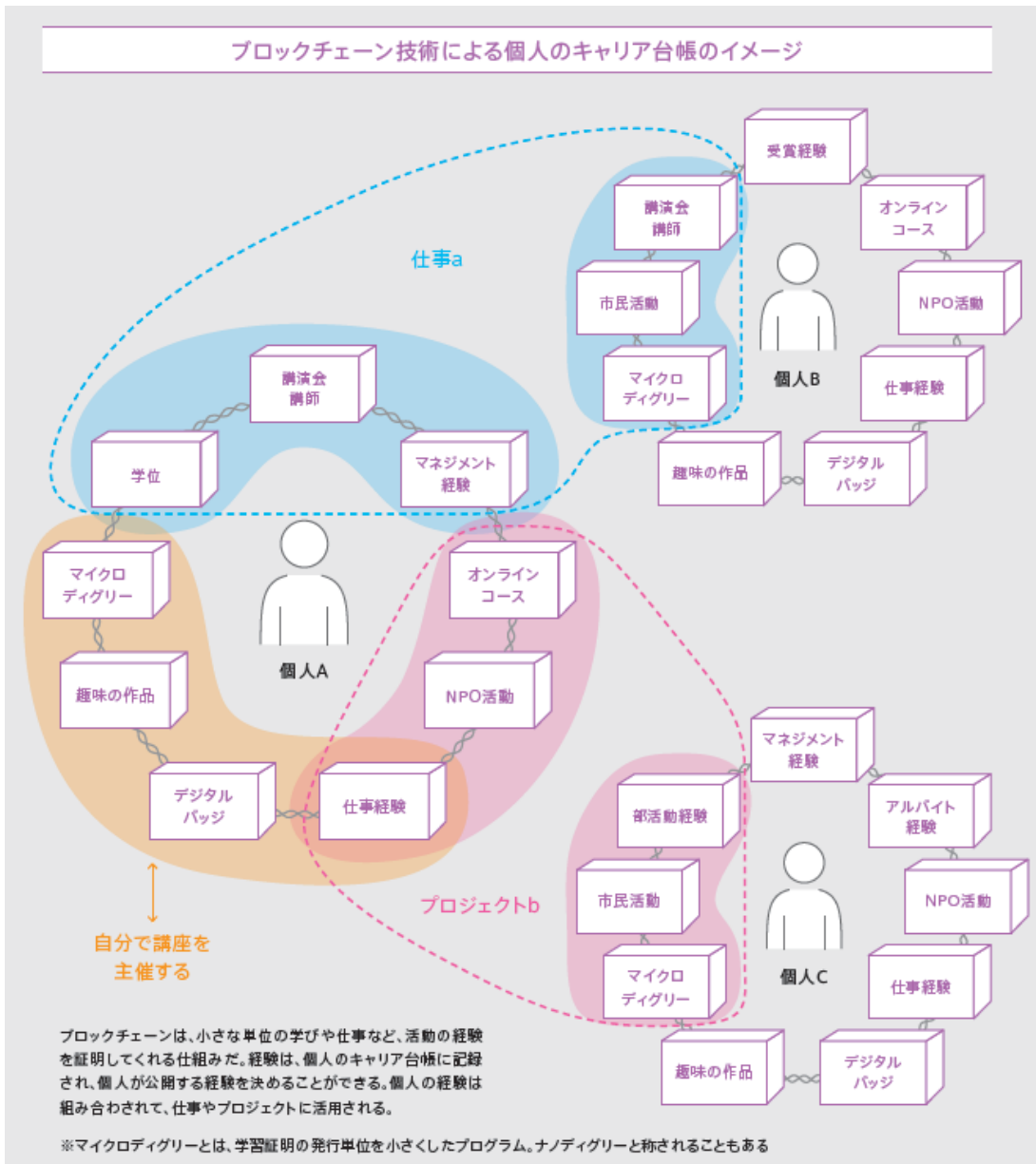


参考:ストアカ(<https://www.street-academy.com/>)

「ストアカ」は、誰もが講師となり、講座を開講できる、スキルを共有する場。講座の内容はプログラミングから常備菜の作り方まで多種多様。教える一方で1回の講義から学習可能。学習者からの反応が集計され、評価を得る

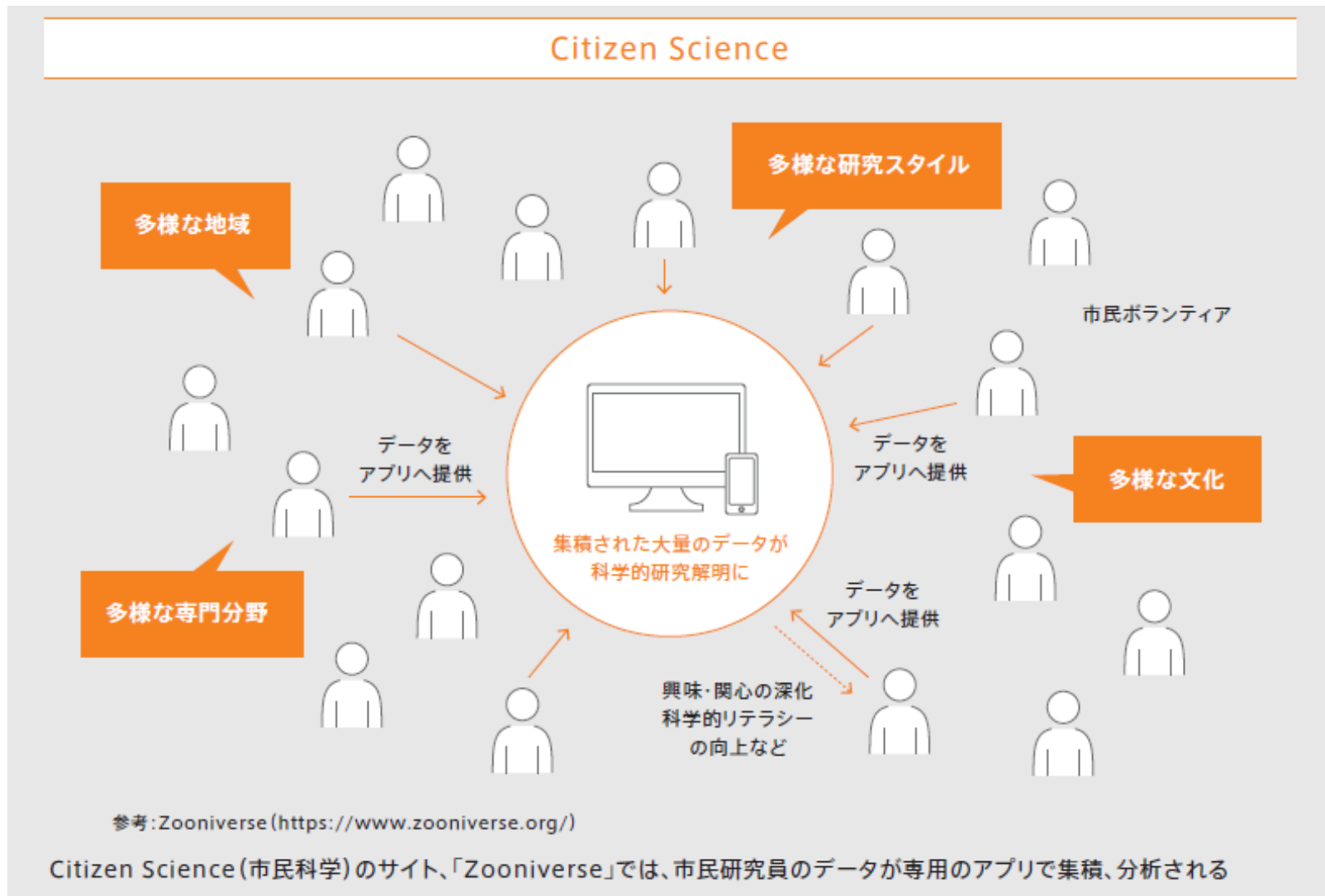
# 学んだことが流通し、 反響・共感を得ながら より価値の高いものへ と形を変えていく

- コンピュータネットワーク上の台帳が  
学習履歴を保証し流通を促す
- 個人が学習記録や体験を保存、管  
理し取引することが可能になる



# 共に学ぶことで、新たな動機がひき出され「共創知」を生み出す

- 探求心を持った個人が参加し、科学データを集めることで、世界規模の課題を解明することも可能になる



# 未来の学びは

- 1) 個々の学習到達度や興味・関心によって、一人ひとりにプログラムが個別化される
- 2) アウトプットを目的とした手段としての学びが拡大する
- 3) 誰かとの「つながり」を感じながら学べるようになる
- 4) 学んでいるという意識が薄れる
- 5) それらすべてをテクノロジーが支援する